



令和5年度

東落合小だより

多摩市立東落合小学校

校長 大津 嘉則

令和6年1月9日

ホームページ <http://schit.net/tama/eshigashiochiai/>

1月号

明けましておめでとうございます。

校長 大津 嘉則

初春のみぎり、新春のお喜びを申し上げます。

旧年は本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

令和6年の幕開けは、「令和6年能登半島地震」や「日本航空と海上保安庁の航空機衝突事故」など大変衝撃的でした。ここに被災された方へのお見舞いととともに、犠牲になられた方への哀悼の意を表したいと存じます。被災地においては早い復旧と復興を祈りたいと思います。

さて、今年は辰年です。十干十二支でいうと甲辰（きのえ・たつ）になります。甲辰は、十干（じっかん）の1番目にあたる甲と、十二支の5番目にあたる辰の組み合わせで、十干十二支では41番目にあたります。陰陽五行説では、甲が「木の陽」の気を表し、辰もまた「木の陽」の気を表すそうです。「木の陽」が重なる組み合わせを「比和」と呼び、同じ気が重なると、その気は最も盛んになるそうです。その結果が良い場合にはますます良くなる反面、悪い場合にもますます悪くなってしまおうという関係性があるようです。

さらに「甲」は十干の1番目、生命の循環で言えば最初に位置し、生命が誕生した状態を表しているそうです。また、「辰」は草木の成長が一段落し、整った状態を表しています。このことから、全ての新芽が葉を広げ、降り注ぐ日の光を全身で浴びている中春のイメージであるようです。

令和6年は「甲」と「辰」の組み合わせから、「あまねく光に照らされ、急速な成長と変化が起きる年」、「春の日差しが、あまねく成長を助く年」になると考えられるようです。人知れず頑張ってきたこと、努力していることが照らされて、大きく成長を遂げることができる年であることが言えそうです。

十干十二支のごとく、様々な教育活動という光で児童を照らし、今までより一層児童が成長できるよう学校では指導・支援をしていきたいと考えます。

令和5年度としては最後の3か月となります。学校では後期の後半であり1年間のまとめを行う期間でもあります。学校でも行いますが、御家庭においても1年間の学習の振り返りをして、その学年で身に付ける力をお子さんと一緒に確認していただければと思います。6年生にとってはあとわずかな小学校生活の期間です。大切に大事に過ごし、良い思い出をたくさん作ってほしいと思います。

東落合小学校の児童の健やかな成長のために教職員一同、教育活動をより一層充実させていきたいと考えていますので、保護者や地域の皆様、本年も変わらぬ御支援、御厚誼を賜りますよう、よろしくお願いいたします。